

## 孤高のチェリスト…クリストフ・コワン

コワンさんとドイツのボンで「アルペジョーネ・ソナタ」を弾いた時のこと。哀愁漂うあの第2楽章の旋律に、涙をそっと拭う聴衆がいたと言う話を終演後に聞きました。それくらい、美しく、繊細な調べなのです。

コワンさんが私に語ってくれたところによると、(私の聞き間違いでなければ)アルペジョーネという楽器はウィーンやライプツィヒの博物館など、世界で合計17台が保存されていて、コワンさんはその全てをご覧になられたうえで演奏しているとのこと。この難しい楽器を彼ほど美しく響かせられる人は他に存在しないでしょう。

天才少年と呼ばれ、パリ音楽院を16歳で卒業し、スターになれる可能性はいくらでもあったのにその道を捨ててバロック音楽の道へ。そして忘れられた楽器や音楽作品を、人類の芸術遺産として守り続ける、文字通り世界の第一人者となったクリストフ・コワン。欧州のどの国へ行っても「彼と共演しているのだ」と名前を挙げただけで相手の態度が変わる、そういう人物なのです。

今回はアルペジョーネはもちろん、ほとんど演奏されないコワンさん秘蔵のレパートリーを皆様にお聞かせできることを、とても楽しみにしております。

金子 陽子



## ナヴァラやアーノンクールらに師事 古楽演奏に造詣深い世界的チェリスト

### クリストフ・コワン

Christophe Coin, Baroque Cello & Arpeggione

1958年フランスのカーン出身。パリ音楽院でアンドレ・ナヴァラに師事し一等を得て卒業。その後ウィーン国立音楽院でニコラウス・アーノンクールに、バーゼルのスコラ・カントルムでジョルディ・サバルの薫陶を受けた。ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスやエスペリオンXX、エンシェント室内管弦楽団などの古楽オーケストラに参加ののち、1984年にモザイクアンサンブル、及びモザイク四重奏団を結成。古楽のスタイルで演奏する弦楽四重奏団の先駆として注目を集め、ハイドンの録音でグラモフォン賞受賞。パリ国立高等音楽院とバーゼルのスコラ・カントルムにてチェロとヴィオラ・ダ・ガンバの教授活動も行っている。また「アルペジョーネ」などの忘れ去られた楽器や作曲家、作品を、人類の芸術遺産として守り続ける貴重な第一人者として、欧州の音楽界で尊敬を集める存在である。

## マリア=テクラ・アンドレオッティ

Maria-Tecla Andreotti, Flauto traverso



カリフォルニアのスタンフォード大学で音楽芸術学を学んだ後、ストラスブルグ音楽院でチェンバロとリコーダーを学び、のちにパリでトラヴェルソの演奏技術も習得。1980年、オランダ・ハーグの王立音楽院に入学、バルトルド・クイケンに学び、86年にソリスト・ディプロマを得る。現在、パリのガルシュ音楽院で後進の指導にあたるほか、マスタークラスや演奏活動を欧州各地で盛んに行う。

## 金子 陽子

Yoko Kaneko, Fortepiano



名古屋生まれ。桐朋学園大学を経て、1987年に渡仏。パリ国立高等音楽院にてピアノをI.ロリオ、M.ペロフに、室内楽をJ.ムイエールの各氏に学ぶ。1988年に結成したピアノ四重奏団「ガブリエル四重奏団」として、フランスの著名なレコード賞を次々に受賞。ほかR.パスキエ、R.カブソン、諏訪内晶子らと共演するなど室内楽奏者として高い評価を受ける。フォルテピアノ奏者としてもJ.=v.インマーゼール氏との2台ピアノの共演ほか、C.コワン氏とは長年にわたり共演している。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄山崎駅 12 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)